

極寒の北海道で実績を上げた i-PROカメラシステムを カーリングホールでのライブ観戦・配信用に導入。



カールプレックス おびひろ様

i-PROカメラシステム

導入時期: 2019年1月 導入地域: 北海道

課題:

- ・縦長の競技場で、奥の方では数センチを争う試合状況の確認がしづらい
- ・寒さや湿気に強いカメラ設備が必要

解決策:

- ・主に試合が行われるシートには4台のカメラを設置し、同時に4台の映像確認を実現
- ・IP66の防水・防塵性、使用温度-40~+60度、除湿素子を搭載した機種をご提案

“選手が投げるフォームや、投げた後のゲームエリア、定点カメラで上部から緻密な試合の様子を、同時に4か所の角度から見るできるようになりました。”

カールプレックスおびひろ
アイスメーカー 川平景虎 様
ホールマネージャー 川平操子 様

※所属は納入時のものです。

背景

施設のリニューアルを期に高画質なカメラシステムを検討

国際規格のシート(カーリングを行うエリア)を備えた世界有数のカーリングホール「カールプレックスおびひろ」様の観客席は片方のハウス(円)側に設けられています。シートは縦に長く、確認用のカメラも無く、特に奥のハウスでは、数センチを争う緊迫した状態をすぐ確認できませんでした。

また、ライブ配信用に簡単なカメラを設置しましたが、画質も悪く、使い勝手も良くありませんでした。2019年、施設のリニューアルを行うタイミングで、試合中のライブ観戦が高画質で行え、また配信もできるカメラを検討し、パナソニックのi-PROシステムが導入されました。

導入した理由

厳寒の北海道で使われてきたカメラの実績が決めに

カーリング場は氷の状態がストーン(石)の一投一投に繊細に影響します。氷の質を安定した状態に保つため、湿度と温度管理がとても重要な施設です。カールプレックスおびひろ様は、湿度にも強く、寒い環境にも耐え、さらにライブ配信にも使用できる画質をもつカメラをお探しでした。

パナソニックでは北海道の多くの牧場で監視カメラをご採用いただき、「育成管理ソリューション」として冬の過酷な環境の畜舎で実績をあげています。今回、運営会社で牛舎設備も手掛ける「株式会社 土谷特殊農機具製作所」様を通じてi-PROカメラシステムが選定されました。

国際規格の4シートを備えた世界有数のカーリングホール

自然冷熱を利用した空調システムによる世界有数の省エネ型カーリングホールです。国際規格の4シート(A・B・C・D)を備え、通年利用が可能。帯広駅から車で10分、とち帯広空港から20分とアクセスも良く、カーリングの国際・国内大会をはじめ、国内トップチームの練習、学校授業、初心者向けカーリング教室、体験教室などが年間通して行われています。

- 所在地: 〒080-0871 帯広市清流東2丁目13-7
- URL: <https://www.facebook.com/curlingobi/>



▲カールプレックスおびひろ様の外観



導入後の効果

見づかった奥側ハウス(円)のストーン的位置関係が一目瞭然

主に試合を実施するCシートには、両端のハウスの真上にそれぞれフルHD 屋外対応ドームネットワークカメラWV-S2531LNを計2台設置。室内空間ですが湿気や冷気が強いホール内で安定した映像を記録するために屋外仕様を選択しています。これにより見づかった奥のハウスのストーンが画面上ですぐにはっきり見えるようになりました。

選手の表情や動きなども映し出せる

競技が行われる長さ約45 m×幅5 mのエリアをシートと呼びます。このシートを見下ろす位置に屋外フルHDボックス型ネットワークカメラWS-1511LNJを2台設置。今まで背中しか見えなかった、ストーンをリリースする選手の様子やストーンの前をブルーム(ブラシ)で掃くスイーパーの動きを映し出します。

カメラ映像はリンク外の表示用モニターで見ることができ、ライブ配信され、鮮明な映像で試合の様子を観戦できるようになりました。

防水、除湿、使用温度範囲-40℃にも高い評価

カーリングはストーンの微妙なコントロールが要求される繊細なスポーツで、カーリングホールではアイス(氷)の状態も綿密に管理されています。通年使用できるホールでは、i-PROのIP66防水・防塵性、さらには使用温度-40~+60度、カメラ内部を低湿度に保つための除湿素子搭載など極寒の環境でも安心、と高い評価をいただいています。

さらに、Cシート以外の3シート(A、B、D)には通常見えにくい奥のハウス上に、フルHD 屋外対応ドームネットワークカメラWV-S2531LNが1台ずつ設置されました。

お客様の声

高画質カメラ設備導入で、世界に自信をもって試合状況の配信が可能

カールプレックスおびひろは2007年に設立、2019年で12年目となり、施設全体をリニューアルすることになりました。

当施設では国内の大きな大会も行われますが、カメラ設備がなかったため、奥のハウスの様子が見えにくく観客の皆さんにもご不便をおかけしていました。

また、カーリング場は湿度と温度管理がとても重要です。湿度にも強く、寒い環境にも耐えられ、且つライブ配信にも使用できる画質をもつカメラを探していたところ、北海道の過酷な環境の牛舎でパナソニック製のセキュリティカメラが使われていることを知り、導入することになりました。

ハウスの定点カメラ以外に、シート上の2か所に設置することにより、投げるフォームや投げた後のゲームエリア、定点カメラで上部から緻密な試合の様子を同時に4か所の角度から見るできるようになりました。

他のカーリング場に引けを取らない画像を、全世界に自信をもって試合状況を配信できる施設になったと思います。



▲約40 m先のハウス(円)を狙う



▲奥のハウスを目標けてストーン(石)をリリース



▲奥のハウスの場合、数センチを争う緊迫した状態をすぐには確認できない



▲i-PROカメラにより、真上からストーン的位置関係を画面で確認が可能



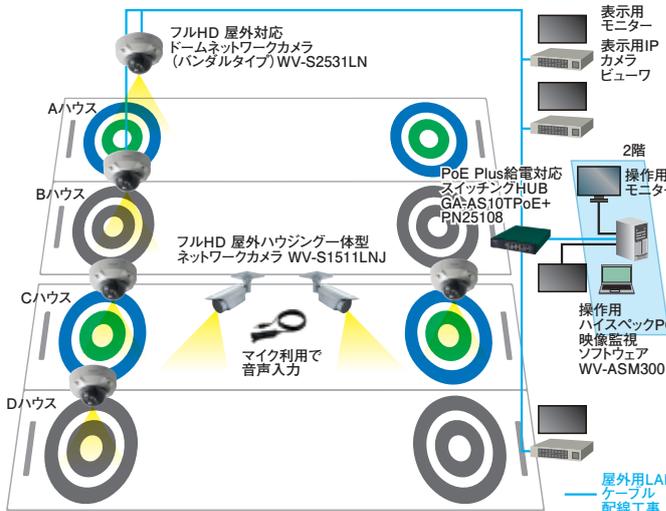
▲観客席やライブ配信でゲームの様子を4台のカメラ画像で見ることができ



▲ハウス真上のネットワークカメラ WV-S2531LN

▲シート上に設置されたネットワークカメラWV-S1511LNJ

システム構成



納入機器



フルHD 屋外対応ドームネットワークカメラ(定点真上)
WV-S2531LN×5台



フルHD 屋外ハウジング型ネットワークカメラ(定点)
WV-S1511LNJ×2台

映像監視ソフトウェア WV-ASM300

PoE Plus給電対応スイッチングHUB
GA-AS10TPoE+ PN25108

表示用IPカメラビューワ